

## 注意事項

なぜ、このような課題(橋)を提出したかについては、授業の最初で説明します。

敷地の現況、歴史性(とりわけ、この橋のある道路の変貌)に関しても、授業の最初に説明します。また、現況に関しては、ビデオ並びに写真を、現在の橋の図面と共に用意します。

## ①青山墓地に架かる「橋」の建て替え

テーマ：「橋と建築」

### ・都市と橋

橋(はし、橋梁、きょうりょう)は、人や物が、谷、川、海、窪地や道路、線路などの交通路上の交差物を乗り越えるための構造物である(道路、窪地、線路などを跨ぐ橋は陸橋と呼ばれる)。

乗り越えるものにより、跨道橋(こどうきょう)や跨線橋(こせんきょう)など、個別の名称で呼ばれることもある。一方、水を渡すための橋を水道橋(aqueduct)と呼び、乗り越える目的ではないものは高架橋(viaduct)と呼ばれる。主としてその構造は、上部構造、下部構造に分けられる。

### ・橋に求められるもの

谷瀬の吊り橋(奈良県吉野郡十津川村)

上に書いたような目的を果たすためには、橋にかかる荷重を支えることと、荷重がかかっても変形が大きくなりすぎないことが必要である。特に地震や台風の多い日本では、地震発生時・台風通過時の安全性を確保することが重要となる。

また、橋に求められるものは実用性だけにとどまらない。橋のような大きく目立つ構造物は、その地域のシンボルになりうる。そのため橋は、魅力的であること、周囲と調和するものであること、なども満足しなければならない。また、莫大になる公共事業費の削減が叫ばれる日本では、経済性も重要である。とりわけ、高度経済成長期に大量に建設された橋が耐用期間を迎える今日では、維持のやり繰りが先進諸国の大きな課題である。

ウィキペディアより抜粋

## ②計画地：港区青山4丁目 外苑西通り 青山橋高架下

計画地は青山墓地と根津美術館の高台を外苑西通りが谷状に縦断した窪地にあり、両側の高台を結ぶ形で十数メートル上方を都道が東西に交差している。この高架下の橋脚の立ち並ぶ空き地を当課題の計画地とする。

周辺は猥雑ではあるものの緑の多い閑静な住宅地であり、対照的に高架やその橋脚のつくり出す土木的スケールが強調されている。当課題では、この土木的スケールの空間を手掛かりに、都市に相応しい橋と建築が一体化した構築物を設計することが求められる。

## ③橋と一体化すべき建築プログラム

「公園」、「ガソリンスタンド」、「低層集合住宅」、「市民ギャラリー」、等々

周辺状況、老人たちが多い密集住居群と、商業再開発の境界に位置しているといったコンテクスを十分に考慮すること。

## ④提出物：

設計概要：自由

配置平面図：周辺状況、周辺計画を含む(縮尺1/500)

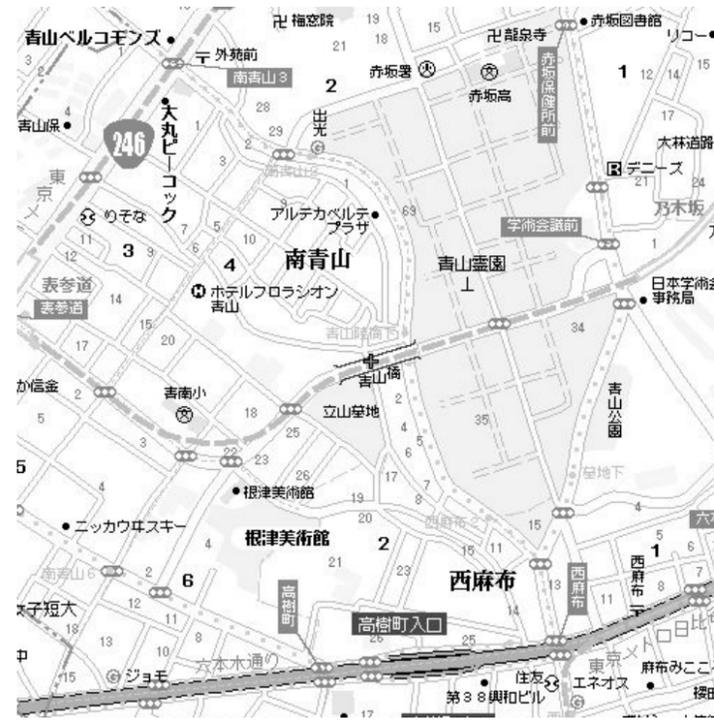
平面図：建物周辺の表記を含む(縮尺1/200)

立面図：1面(縮尺1/200)

断面図：1面(縮尺1/200)

模型(縮尺自由)

■名工大エスキース課題  
参考資料 NO.1



a



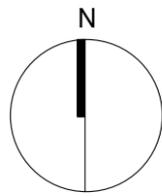
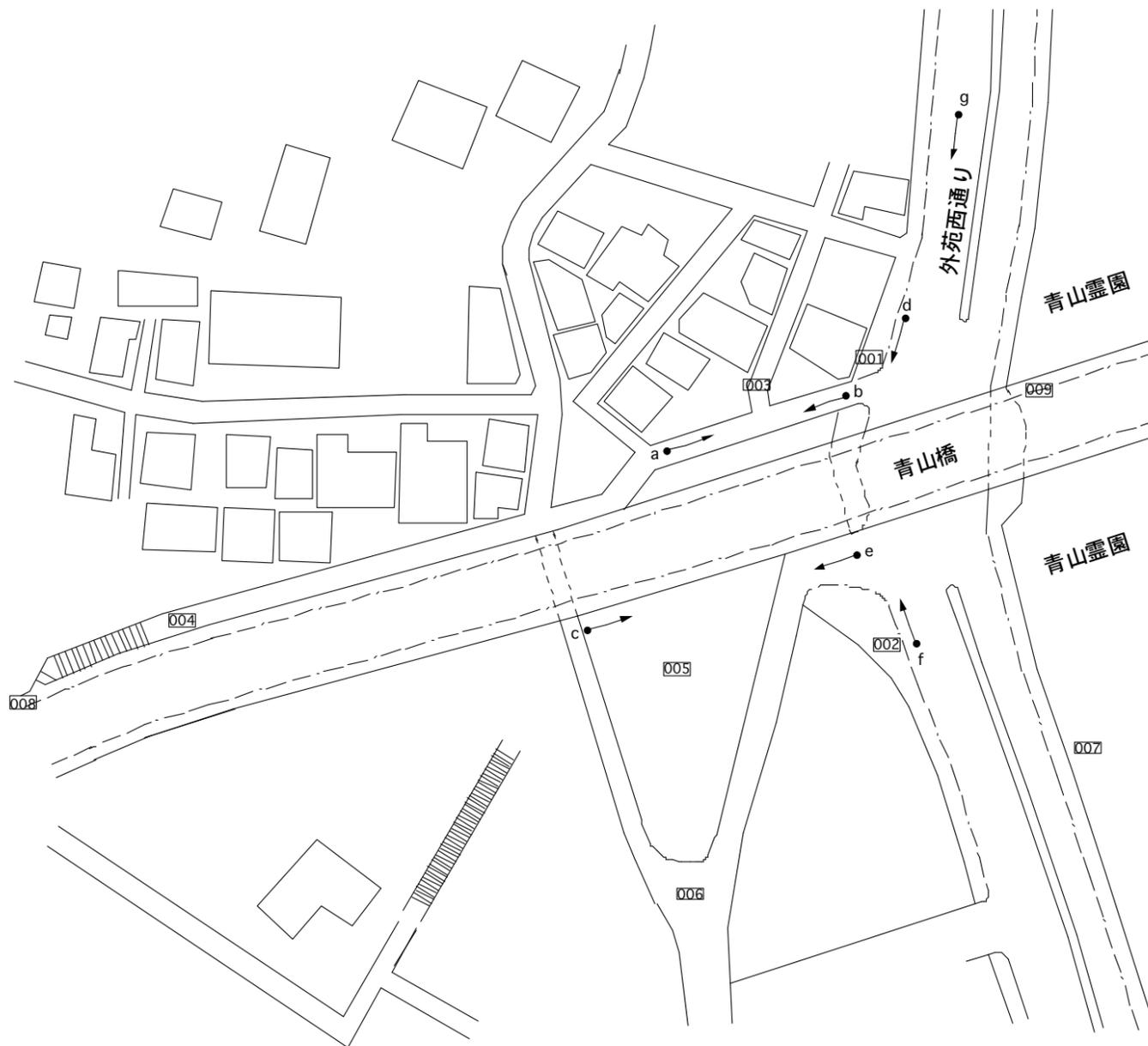
c



b



d



SCALE 1/1000

〈動画〉

- 001 橋下 (南青山から) .MP4
- 002 橋下 (西麻布から) .MP4
- 003 橋下 (駐車場から) .MP4
- 004 橋下 (表参道から) .MP4
- 005 公園から.MP4
- 006 公園から002.MP4
- 007 青山墓地から.MP4
- 008 橋の上 (表参道) .MP4
- 009 橋の上 (青山墓地から) .MP4



e



f



g

